

カナレ製品の木卓やワゴンを末永くご愛用いただく為に、デザインや運用性能などの仕様につきまして適切な部品・部材の選定、構造検証及び各種試験を適宜行っております。

「より丈夫に、より安全に」を心掛け、ご使用頂いております皆様に「更なる安心を」第一にご提供するべく、製品づくりを実践しております。

家具耐久性試験(水平力)・箱型圧縮試験機による圧縮試験

第三者試験機関

家具耐久性試験(水平力)

例 試験体：CT30T6W

【条件】
水平力：450N
サイクル：10秒間・10回
方向：4方向
(左右前後)



[JIS S 1200 (2012) 6.4.1 「構造及び骨組の強度試験」]

箱型圧縮機による圧縮試験

例 試験体：CT30T6W

【条件】
垂直力：1250N(天板)
750N(底板)
サイクル：10秒間・10回
方向：1方向(真上)



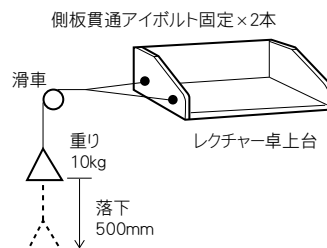
[JIS S 1200 (2012) 6.2.2 「天板及び地板の静荷重試験」]

レクチャー卓の上台側板の強度試験

社内試験装置

例 試験体：全てのレクチャー卓
CT16/30シリーズ
CD13/26シリーズなど

【条件】
落下距離：約500mm
落下重り：10kg
想定衝撃：約5,000N
強度仕様：ダボのみ8~12本
Mini-Fix 追加1~2本
耐落下回数：各仕様毎1000回

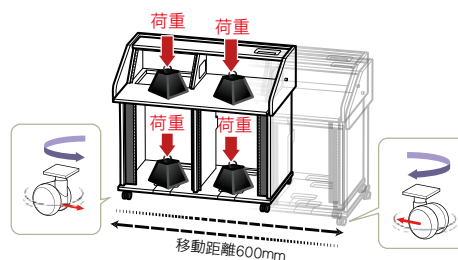


キャスタ付き収納ユニットの試験

第三者試験機関

例 試験体：CT30T6W

【条件】
サイクル：1000サイクル
サイクル速度：毎分約10回
移動距離：600±20mm
載荷重：合計質量150kg



[JIS S 1200 (2012) 6.4.3 「キャスタ又はホイール付収納ユニット試験」]

キャスタと周辺構造体の強度試験

キャスタメーカー共同試験

荷重走行試験

例 試験体：キャスタφ60
+周辺構造体

【条件】
荷重：120kg
速度：0.5m/s
障害：高さ6mm×巾6mm
障害衝撃：1m走行時に1回
走行距離：5,000m



落下衝撃試験

例 試験体：キャスタφ60
+周辺構造体

【条件】
荷重：20kg
落下高さ：25mmおきに落下
最低高さ：25mm
最大高さ：375mm



※周辺構造体：キャスタを固定する合板、ビス、木ネジ、鬼目ナットなどの総称とする。総合的な製品強度の試験ではキャスタと周辺構造体を合せて実施。

